

事業番号	04 09 18	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	障害者福祉センター運営事業			担当課	部局	健康福祉部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	障害者支援課	
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障害者支援の充実		E-mail	shogai-shien@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H10 ~	

1 事業の概要

目指す姿	県における障害者のスポーツ・レクリエーション活動や文化活動の中核施設として、障害者の健康増進と社会参加の推進を図る。					
現状	障害者福祉センターの利用者数は開館以降、ほぼ横ばいで推移している。 身近な地域で、障害者を対象にした移動スポーツ教室等の支援ニーズが高い。					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()					
事業内容	<input checked="" type="checkbox"/> 左記の説明、根拠法令等 県内唯一の障害者のスポーツ・文化施設として、県内の障害者スポーツ活動や文化芸術活動の指導、推進の中心的な役割を果たしている。					
	① 成果目標(H24) ・利用者数の増加 ・障害者福祉センターから離れた地域の障害者に対し事業を展開する移動スポーツ教室等の参加者の増加 (利用者数:150,000人 スポーツ教室等参加者数:73,000人)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25
				(当初)	(決算)	(当初)
	指定管理委託料	指定管理	障害者福祉センターの管理運営を指定管理者((社福)長野県社会福祉事業団)に委託	268,306	268,306	271,335
	看護大学プール光熱費	直接	長野看護大学のプールの光熱費の負担(サンスポート駒ヶ根においてプールを使用している)	1,790	1,790	1,790
	指定管理者選定委員会	直接	-	-	-	107
	トレーニング機器購入費	直接	-	-	-	166
			合計	270,096	270,096	273,398

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	270,096	269,886	270,096	273,398
	補正予算	1,087	12,117		
	合計(A)	271,183	282,003	270,096	273,398
	国庫支出金	1,087	412		
	県債				
	その他(繰入金)		11,287		3,416
	一般財源	270,096	270,304	270,096	269,982
	決算額(B)	27,183	281,698	270,096	
概算職員数(人)	0.10	0.10	0.10		
概算人件費	832	826	826	0	
概算事業費(B(A)+C)	28,015	282,524	270,922	273,398	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
利用者数	148,771	150,000	145,856	未達成	157,800
スポーツ教室等参加障害者数	11,191	11,200	13,161	達成	11,468
満足度(普通以上)	90%	90%以上	90.2%	達成	90%以上

目標に対する成果の状況	障害者の利用が一定程度あり、障害者の健康増進と社会参加の推進を図ることができたが、利用者の固定化やセンター周辺にスポーツクラブが開設され健常利用者の選択肢が広がったことなどから、利用者が減少した。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・県内唯一の障害者のスポーツ・文化施設として、障害者の健康増進と社会参加の推進を図るため、幅広い情報提供や利用者のニーズの把握を行い、ニーズに沿った教室を開催するなど利用者の増加に努めたい。
---------------------	--